

夷隅川流域を柱にした生きものの力を 借りた地域循環共生圏づくり準備活動 ～生物多様性の主流化とESD推進環境の充実をコンセプトに～

活動地域 千葉県

特別助成
2年目
知識の提供・普及啓発

夷隅川リパークリーン 活動ゴミ回収	169kg
地域資源タネシート・ マンダラ作成	各1枚
今年度計画の達成度	70%
全体計画の達成度	60%



夷隅川リパークリーンの様子

苦勞した点と工夫した点

■苦勞した点

人を集める活動(イベントや意見交換会等)が、新型コロナウイルス禍や天候不順、相手の都合等で予定よりも捗らなかった点。

■工夫した点

事前のリサーチや調整を丁寧に行うことで、できるだけ円滑・効率的に行うよう心掛けた点。

課題

夷隅川流域の環境保全とSDGsの推進のため、市民の意識変容やライフスタイルの変化を促し、より身近な材料としてオーガニック・ブームを地域に定着させたい。

目標

地域内での地域循環共生圏ステークホルダーの協働活動と環境ビジネスを後押しする推進体制、「小・中学校合同部活動」等のESD実施推進体制の基礎ができる。

活動内容と成果

- 活動1: ①食育イベントを3回開催
②夷隅川リパークリーン5回開催 ゴミ回収: 169kg
- 活動2: 地域資源活用を考えるシリアスポードゲーム作成
- 活動3: ヒアリングを4回、アンケートを実施。ステークホルダー・リストと地域循環共生圏マンダラを作成
- 活動4: 地域資源循環を考察したニュースレター、2年間の活動をまとめたニュースレターを作成、地域イベントへの出展とオーガニック専門店でのパネル展示常設、「エコメッセちば」へのオンライン出展。
ESD環境は足踏みだが、地域循環共生圏づくりは少し進んだ



有機畑での食育収穫体験の様子

全助成期間の活動を振り返って

環境省が進める地域循環共生圏づくりを、いすみ市を中心に夷隅川流域で行うことを目指して活動した市民の環境意識、SDGs意識を地域内で高めシティブロモーションへつなげるためのツールとして地域循環共生圏づくりを位置付けること、市民一人ひとりのレベルでの小さな循環を作り出すことを目指すべきという認識に至った。また、ESD環境づくりには、学校や先生の都合もあるため、焦らずやるべきだと理解した。



地域循環共生圏連絡会準備会の様子

〒299-4616
千葉県いすみ市岬町長者475
電話: 0470-62-6730
E-mail: isumi-style@bz03.plala.or.jp
HP: <http://www.isumi-style.com/>



今後の展望

2年間の活動の間に、いすみ市での学校給食の有機食材化が全国的に注目され、本活動の追い風となりやすくなった。その一方で、循環させるべき地域資源(ヒト・モノ・コト・場所)の少なさの克服が課題として出てきた。それを克服するために、地域経済を支える大きな循環を作ること考えるのではなく、市民一人ひとりのライフスタイルの中に地域資源の循環を作っていく「小さな循環=マイ循環」づくりを進めていきたい。